

ノーベル文学賞

賀川豊彦 2回候補に

スウェーデンの財団公開



賀川豊彦

トセラ―になった。54年からは3年連続でノーベル平和賞候補にもなっている。

エーデンの有識者で、当時の欧州で賀川の名前がよく知られていたことがうかがえる。

ノーベル財団は、ノーベル賞候補者の名前を50年間は公開しない方針をとっている。

(共同)

日本の社会運動家の草分けとして知られる賀川豊彦（1888〜1960年）が、戦後間もない47年と48年の2回、ノーベル文学賞の候補になっていたことが分かった。スウェーデンのノーベル財団の公式サイトに13日までに掲載された。

公開された候補者リストによると、賀川を日本の「作家」として文学賞候補に推薦したのはスウ

日本人のノーベル文学賞受賞者としては、68年の川端康成、94年の大江健三郎さんがいる。ノー

神戸生まれで徳島県で育った賀川は、労働組合や協同組合運動、貧困救済などに取り組む一方、大正時代には自伝的小説「死線を越えて」がベス